

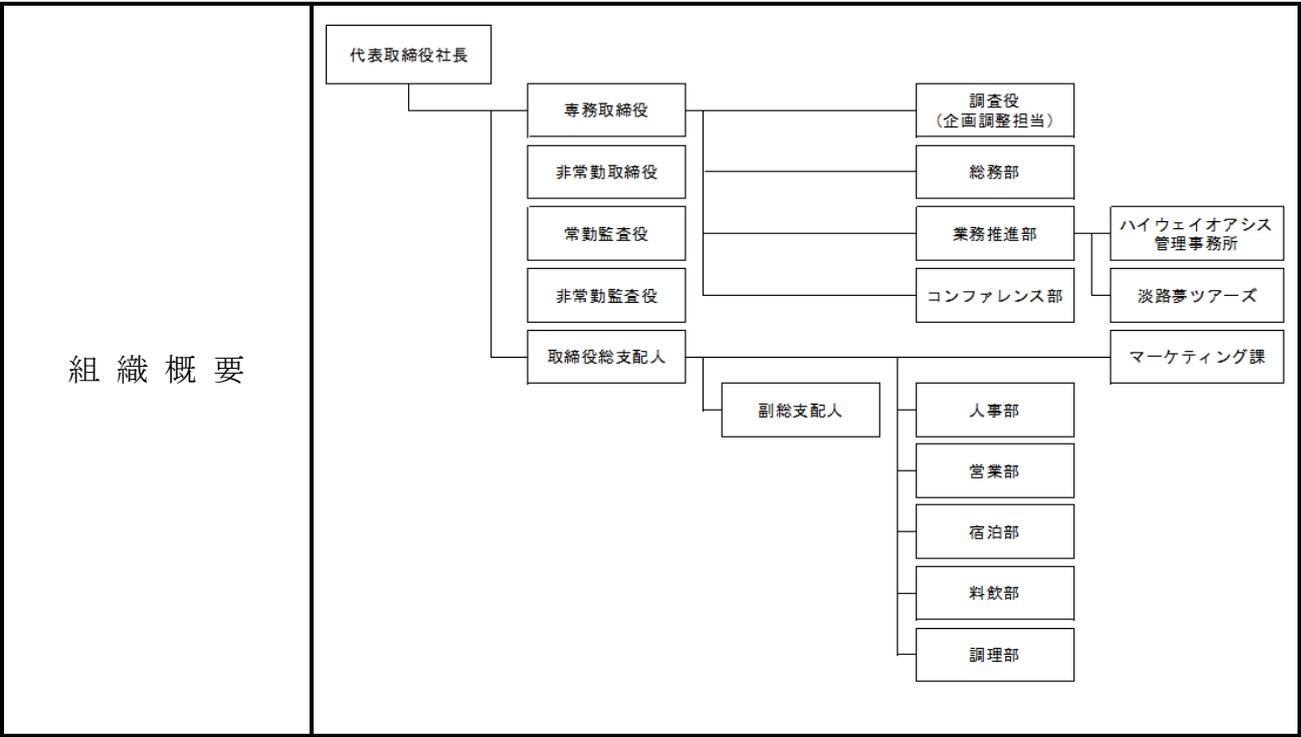
# 県の出資等に係る法人の経営状況について

企業庁

## 株式会社 夢舞台

### I 総括

法人名 株式会社 夢舞台		所在地	淡路市夢舞台1番地		
設立年月日	平成7年3月28日	所管課	企業庁総務課		
<p>設立目的</p> <p>淡路夢舞台は、荒廃した土取跡地に自然環境の回復と創造を図り、大阪湾ベイエリアにおける交流拠点を目指すことを基本理念とした「淡路島国際公園都市」の中核施設として整備された。国際会議場、温室、灘山緑地、交流の翼港等の公の施設及びホテル、展望レストラン等の収益施設から構成される複合型施設である。</p> <p>これら施設群の一体的な管理運営を行い、淡路地域の振興に寄与することを目的として、株式会社夢舞台を設立した。</p>					
設置に係る根拠（関係条例等）		—			
資本金総額	1,508,550,000円				
うち本県出資金の額	1,250,000,000円（出資比率 82.9%）				
主な株主	(株)三井住友銀行（22,815,000円） (株)みなと銀行（19,000,000円）				
役・職員の状況	役職員数	役員数 12人 [ 常勤 4人（うち県派遣 1人、その他 3人） [ 非常勤 8人（うち県派遣 1人、その他 7人） ] 社員数 156人（うち県派遣 1人、その他 155人）			
		役職名・氏名・その他職名			常勤・非常勤の別
	代表者	代表取締役	前田 正志		常勤
	その他の役員	専務取締役	葉山 琢		常勤
		取締役	星野 美奈子	グランドニッコー淡路 総支配人	常勤
		取締役	梶本 修子	兵庫県公営企業管理者	非常勤
		取締役	門 康彦	淡路市長	非常勤
		取締役	石村 健	淡路信用金庫 理事長	非常勤
		取締役	細川 勝伸	川崎重工業(株) 執行役員総務本部長	非常勤
		取締役	大溝 貴史	(株)神戸製鋼所 総務・CSR部担当役員補佐 兼大阪支社長	非常勤
		取締役	小熊 英国	芸術文化観光専門職大学 教授	非常勤
		監査役	政辻 孝克		常勤
		監査役	池田 俊亮	(株)三井住友銀行 公務法人営業第二部長	非常勤
監査役	楡井 義丈	(株)みなと銀行 地域戦略部長	非常勤		



## II 決算状況について

### 1 令和5年度事業の概要

#### (1) 総括的事項

淡路地域の振興拠点として、ホテルや展望テラス内レストラン、国際会議場、温室などの夢舞台施設群並びにハイウェイオアシスの管理運営を行った。

#### <参考①：夢舞台主要施設の概要>

施設名称	管理運営	所管部局	備考
ホテル（客室数 201 室）	（株）夢舞台	企業庁	貸付
展望テラス内レストラン			
国際会議場		産業労働部	指定管理
百段苑、展望テラス、灘山緑地		まちづくり部	指定管理
温室（あわじグリーン館）			
ハイウェイオアシス		土木部	指定管理
交流の翼港			

#### (2) 具体的事項（事業実績等）

##### ① 社会経済情勢の影響

新型コロナの5類移行による旅行需要の回復傾向等を受け、ホテルの売上は前年度に並ぶ水準を確保したものの、水道光熱費の高止まり、経費増大、人手不足などへの対応を求められた結果、当期損失は26百万円を計上した。

##### ② 営業収益確保の取組

ホテルは、個人客が繁忙期の悪天候等を受けて例年に比して伸び悩んだが、客室単価の向上等、継続的な取組により、新型コロナ前を上回る売上水準となった。

国際会議場は、国際会議・医学系会議の獲得強化に取り組んだほか、会議開催中に次年度以降の予約獲得のため主催者等にアプローチするなどリピーター会議の確実な獲得に努めた。

#### <参考②：（株）夢舞台の損益

（単位：百万円 ※四捨五入により端数処理）

科目	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	増減 (A-B)	平成30年度 (C)※3年前	増減 (A-C)
営業収益（売上）	3,754	3,566	188	3,608	146
営業費用（売上原価・販管費）	3,805	3,525	280	3,658	147
営業利益（△損失）	△52	41	△93	△50	△2
営業外収支	10	14	△4	17	△7
経常利益（△損失）	△42	56	△98	△33	△9
特別利益	19	31	△12	0	19
特別損失	0	0	0	0	0
法人税及び事業税	3	18	△15	3	0
当期純利益（△損失）	△26	68	△94	△36	10

#### <参考③：夢舞台主要施設の利用状況>

区分	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	対前年比 (A/B)	平成30年度 (C)※3年前	対H30年比 (A/C)	
ホテル	客室稼働率（%）	63.0	66.5	94.7%	68.5	92.0%
	宿泊者数（千人）	93	99	93.9%	98	94.9%
	宴会（一般・婚礼）（件）	507	477	106.3%	653	77.6%
	レストラン・ショップ（千人）	228	245	93.1%	300	76.0%
展望テラス内レストラン（千人）	115	108	106.5%	187	61.5%	
国際会議場（件）	351	347	101.2%	385	91.2%	
温室（千人）	108	103	104.9%	180	60.0%	
ハイウェイオアシス（千人）	1,608	1,433	112.2%	1,605	100.2%	

## 2 令和5年度決算

## 貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	前 年 度 末 (A)	当 年 度 末 (B)	増 減 (B - A)
<u>流動資産</u>	<u>635,941,378</u>	<u>904,862,678</u>	<u>268,921,300</u>
現金及び預金	320,441,924	334,338,674	13,896,750
売掛金	246,235,377	489,588,482	243,353,105
貯蔵品	36,759,441	40,858,529	4,099,088
前払費用	15,799,971	16,550,853	750,882
未収入金	16,010,351	15,670,581	△339,770
未収還付法人税等	0	7,643,940	7,643,940
短期貸付金	655,000	155,000	△500,000
その他流動資産	61,243	77,402	16,159
貸倒引当金	△21,929	△20,783	1,146
<u>固定資産</u>	<u>609,815,835</u>	<u>579,086,810</u>	<u>△30,729,025</u>
<u>有形固定資産</u>	<u>557,223,280</u>	<u>542,694,555</u>	<u>△14,528,725</u>
建物	276,432,795	261,678,863	△14,753,932
構築物	47,038,023	42,443,385	△4,594,638
機械及び装置	2,018,545	3,205,430	1,186,885
車両及び運搬具	1,197,760	1,928,701	730,941
工具器具及び備品	64,243,693	74,579,616	10,335,923
土地	156,676,510	156,676,510	0
リース資産	9,615,954	2,182,050	△7,433,904
			0
<u>無形固定資産</u>	<u>25,559,992</u>	<u>16,192,391</u>	<u>△9,367,601</u>
電話加入権	5,533,200	5,533,200	0
ソフトウェア	9,058,954	7,003,241	△2,055,713
リース資産	10,967,838	3,655,950	△7,311,888
<u>投資その他の資産</u>	<u>27,032,563</u>	<u>20,199,864</u>	<u>△6,832,699</u>
差入保証金	12,601,424	12,601,424	0
長期前払費用	14,421,139	7,588,440	△6,832,699
その他の投資	10,000	10,000	0
資産の部合計	1,245,757,213	1,483,949,488	238,192,275
<u>流動負債</u>	<u>870,806,568</u>	<u>1,188,780,719</u>	<u>317,974,151</u>
買掛金	59,140,552	49,322,155	△9,818,397
短期借入金	0	300,000,000	300,000,000
1年内返済予定の長期借入金	20,004,000	21,671,000	1,667,000
預り保証金	841,340	0	△841,340
リース債務	15,925,455	5,254,200	△10,671,255
未払金	533,891,444	601,561,773	67,670,329
未払費用	90,263,866	127,604,413	37,340,547
未払法人税等	28,602,900	9,072,700	△19,530,200
未払消費税等	62,191,600	13,165,100	△49,026,500
契約負債	25,853,953	21,423,582	△4,430,371
前受金	3,558,476	3,558,476	0
預り金	5,366,317	10,347,320	4,981,003
賞与引当金	25,166,665	25,800,000	633,335
<u>固定負債</u>	<u>318,048,279</u>	<u>264,292,528</u>	<u>△53,755,751</u>
長期借入金	48,323,000	28,319,000	△20,004,000
長期預り保証金	31,941,022	31,941,022	0
退職給付引当金	232,530,057	204,032,506	△28,497,551
リース債務	5,254,200	0	△5,254,200
負債の部合計	1,188,854,847	1,453,073,247	264,218,400
<u>株主資本</u>	<u>56,902,366</u>	<u>30,876,241</u>	<u>△26,026,125</u>
資本金	1,508,550,000	1,508,550,000	0
利益剰余金	△1,451,647,634	△1,477,673,759	△26,026,125
その他利益剰余金	△1,451,647,634	△1,477,673,759	△26,026,125
繰越利益剰余金	△1,451,647,634	△1,477,673,759	△26,026,125
純資産の部合計	56,902,366	30,876,241	△26,026,125
負債及び純資産合計	1,245,757,213	1,483,949,488	238,192,275

# 損 益 計 算 書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで (単位：円)

科 目	金 額	
売上高		3,753,653,705
売上原価		409,316,673
売上総利益		3,344,337,032
販売費及び一般管理費		3,396,097,496
営業利益		△ 51,760,464
営業外収益		
雑収入等	12,485,851	12,485,851
営業外費用		
支払利息	1,548,817	
その他	1,403,405	2,952,222
経常損失		△ 42,226,835
特別利益		
燃料費高騰対策事業補助金	18,954,710	18,954,710
税引前当期純利益		△ 23,272,125
法人税、住民税及び事業税		2,754,000
当期純利益		△ 26,026,125

# 財 産 目 録

(令和6年3月31日現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<u>流動資産</u>	904,862,678	<u>流動負債</u>	1,188,780,719
現金及び預金	334,338,674	買掛金	49,322,155
売掛金	489,588,482	短期借入金	300,000,000
貯蔵品	40,858,529	1年内返済予定の長期借入金	21,671,000
前払費用	16,550,853	リース債務	5,254,200
未収入金	15,670,581	未払金	601,561,773
未収還付法人税等	7,643,940	未払費用	127,604,413
短期貸付金	155,000	未払法人税等	9,072,700
その他流動資産	77,402	未払消費税等	13,165,100
貸倒引当金	△ 20,783	契約負債	21,423,582
		前受金	3,558,476
		預り金	10,347,320
		賞与引当金	25,800,000
<u>固定資産</u>	579,086,810		
<u>有形固定資産</u>	542,694,555	<u>固定負債</u>	264,292,528
建物	261,678,863	長期借入金	28,319,000
構築物	42,443,385	長期預り保証金	31,941,022
機械及び装置	3,205,430	退職給付引当金	204,032,506
車両及び運搬具	1,928,701		
工具器具及び備品	74,579,616		
土地	156,676,510		
リース資産	2,182,050		
<u>無形固定資産</u>	16,192,391		
電話加入権	5,533,200		
ソフトウェア	7,003,241		
リース資産	3,655,950		
<u>投資その他の資産</u>	20,199,864		
差入保証金	12,601,424		
長期前払費用	7,588,440		
その他の投資	10,000		
資産の部合計	1,483,949,488	合 計	1,453,073,247
		差引純財産	30,876,241

### Ⅲ 事業計画について

#### 1 令和6年度事業の概要

##### (1) 総括的事項

環境創造の発信や脱炭素の取組強化等により「あわじ環境未来島構想」を先導するとともに、交流の促進や利用者満足度の向上に資する新たな取り組みに挑戦し、健全経営確保と地域振興への貢献を両立する。

##### (2) 具体的事項（事業計画等）

###### ① 収益力・集客力の向上

ア 繁忙期における客室単価の向上や、レストランタ食付の宿泊商品などの高付加価値商品の販売等、サービスに応じた価格の設定

イ オークラニッコーホテルグループの海外事務所との連携によるインバウンド・プロモーションの展開

ウ 島内で実施される多様なひょうごフィールドパビリオン各プログラムと連携した宿泊プランの造成による新規顧客・リピーターの確保

エ 大阪・関西万博時に開催される MICE への積極的な誘致活動

###### ② 地域振興

「淡路島国際公園都市」の中核施設として、県・市をはじめ島内で立地が進む集客施設等と連携・共同し、淡路地域の魅力発信や賑わいイベントの開催などに取り組む。また、大阪・関西万博を見据えたインバウンドの誘客など一層の交流促進に向けた取組を進める。

#### 2 令和6年度予算

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	3,835,518
売 上 原 価	431,154
売 上 総 利 益	3,404,364
販売費及び一般管理費	3,402,690
営 業 利 益	1,674
営 業 外 収 益	11,895
営 業 外 費 用	1,440
経 常 利 益	12,129
税引前当期純利益	12,129
法人税等	4,640
当 期 純 利 益	7,489